

令和5年12月吉日

各 位

白 鬚 会 会 長 堂後 昭彦  
千葉大学漕艇部（ボート部）監督 武田 奏明  
千 葉 大 学 漕 艇 部 部 長 宍 戸 雅宏  
(園芸学研究院 園芸環境科学講座 教授)

## 千葉大学基金を活用した漕艇部支援のお願い

～千葉大学漕艇部（ボート部）創部100周年記念事業～

千葉大学漕艇（ボート）部は、大正13年千葉医科大学漕艇部として創部され、令和6年をもちまして創部百周年を迎えることになりました。第二次大戦後一時、部の活動が途絶えた時期もありましたが、昭和39年医学部漕艇部として復活した後全学漕艇部へと発展し、現在に至るまで日本ローイング協会（旧ボート協会）主催の全日本大学選手権等に毎年出漕し、上位入賞できるよう江戸川水域を拠点に活動してきています。

漕艇部の活動拠点である江戸川艇庫は、1978(昭和53)年に大学から特段のご配慮をいただき竣工しました。すでに建設より45年が経過し、建物本体の外壁や屋根、水回り等の劣化が顕著で、近隣住民から苦情も寄せられており大規模改修に取りかかることが喫緊の課題となっております。レース艇につきましても、2018(令和元)年に創部95周年記念事業の一環として男子ダブルスカルを購入しましたが、男子・女子のシングルスカル、女子ダブルスカル、クオドブルの各艇につきましても購入から20年以上経過し、速やかに新艇を購入し学生諸君が大会に臨める環境整備をすることが必要不可欠な状況となっております。

千葉大学が法人化されて以降、艇庫の改修や新艇の購入に予算を充ててもらうことは困難な状況にあります。創部100周年という大きな節目の年を迎えるにあたり、漕艇部OB・OGで組織された白鬚会として、艇庫改修(1100万円)、新艇購入(1100万円)の記念事業を総予算二千万円で計画いたしました(別紙1参照)。漕艇部OB・OGで組織された白鬚会会員は現在290名に上り、この内連絡の取れる会員は258名です。この白鬚会員には、昨年11月に記念事業の主旨と自身の年齢×1,000円以上の寄付金への応募を文書で周知・依頼しましたが、会員の平均年齢は、概ね50歳であり、全会員からの寄付金応募があっても約550万円が記念事業遂行には不足します。更に、現実には全会員から寄付金応募は困難な状況です。

そこで、大変僭越ではございますが、不足分について一般の方々や企業・法人からのご寄付を募ることができないか検討して参りました。この度、大学と協議を重ねた結果、令和5年4月から国立大学法人千葉大学基金室が窓口となり展開されている千葉大学基金の「課外活動を支援」を活用した寄付金募集を実施することができるようになりました。千葉大学基金への寄付金につきましては、税制上の優遇措置が適用されます(別紙2参照)。

千葉大学基金への寄付にかかわるメリットや利活用の方法等を取りまとめた広報紙(別紙3)を大学と協同して作成しましたので、ここにご案内させていただきます。メリットの1つに大学ホームページにお名前・会社名を掲示したり大学施設に銘板を掲示することができ、学生へのリクルート活動のPRにも繋がります。

なにとぞ千葉大学基金を活用した漕艇部支援につきまして、是非、ご検討していただきますようここにお願い申し上げます。

問い合わせ先

白鬚会幹事 石田 哲保

電話 090-4054-5551

Email ishi.noriy@icloud.com

## 【別紙1】

## 千葉大学漕艇部創部100周年事業計画書

## 1 千葉大学江戸川艇庫改修

No.	改修等内容	概算費用	備考
1	水回り改修工事一式	1,500,000	
2	外壁塗装一式	1,500,000	
3	屋根塗装一式	3,000,000	
4	部員休憩用プレハブ設置	4,500,000	男子用、女子用
5	現在のプレハブ撤去費用	500,000	
合計		11,000,000	

## 2 新艇購入

No.	艇種	数	価格(税込み)	備考
1	男子シングルスカル	1	964,700	
2	女子シングルスカル	1	964,700	
3	女子ダブルスカル	1	1,498,200	
4	舵手なしクォドルプル	1	2,546,500	EC4-/x 兼用
5	男子エイト	1	4,060,100	今春の新入部員増からエイト乗艇が近々実現
6	スカル用オール	5	341,250	1セット68,250
7	エイト用オール	8	445,200	1本55,650
合計			10,820,650	

艇価格はSWIFT RACING社の価格表によるもので、為替変動等により変動する可能性がある。現在、多くの大学で購入しているイタリアのFilippi社やドイツのEmpacher社艇の価格はかなり高額となる。

**【別紙2】** →文部科学省 HP：寄附金関係の税制について：文部科学省 (mext.go.jp) より引用

**①税制上の優遇措置（個人 所得税）の事例**

**【減税額の計算式】**

$$\text{寄附後の所得税額} = (\text{課税所得金額} \times \text{所得税の税率}) - ((\text{寄附金額} (\text{総所得金額の 40\%が上限}) - 2 \text{ 千円}) \times 40\%)$$

※ 総所得金額の算定においては、給与収入のみの夫婦及び未婚の子2名」の世帯(配偶者収入200万円、子は高校生1名・大学生1名)を想定し、基礎控除額・扶養控除額を課税所得金額に加算した額を総所得金額とした。

凡例 上段：寄付前の所得税額(円)  
下段：寄付による減税額

寄付金額 \ 課税所得金額	1万円	5万円	10万円	50万円	100万円
200万円	102,500 3,200	102,500 19,200	102,500 25,625	102,500 25,625	102,500 25,625
300万円	202,500 3,200	202,500 19,200	202,500 39,200	202,500 50,625	202,500 50,625
400万円	372,500 3,200	372,500 19,200	372,500 39,200	372,500 93,125	372,500 93,125
500万円	572,500 3,200	572,500 19,200	572,500 39,200	572,500 143,125	572,500 143,125
600万円	772,500 3,200	772,500 19,200	772,500 39,200	772,500 193,125	772,500 193,125
700万円	974,000 3,200	974,000 19,200	974,000 39,200	974,000 199,200	974,000 243,500
800万円	1,204,000 3,200	1,204,000 19,200	1,204,000 39,200	1,204,000 199,200	1,204,000 301,000
900万円	1,434,000 3,200	1,434,000 19,200	1,434,000 39,200	1,434,000 199,200	1,434,000 358,500
1000万円	1,764,000 3,200	1,764,000 19,200	1,764,000 39,200	1,764,000 199,200	1,764,000 399,200

**②法人の税制上の優遇措置（損金）**

法人が行った寄附金のうち、**公共法人(※1)**に対する寄附金については、その全額を損金算入することができ、一般の寄附金(※2)に比べ、税制上、優遇されます。

※1 **国立大学法人**や公立大学法人、大学共同利用機関法人等を総称して「公共法人」という。

※2 一般の寄附金は全額損金算入はできず、その限度額は以下のとおり。

$$((\text{所得金額} \times 2.5\%) + \text{資本金等の金額} \times 0.25\%) \div 4$$

# 千葉大学基金を活用した漕艇部支援のお願い(別紙3)

千葉大学漕艇(ボート)部は、大正11年千葉医科大学漕艇部として創部され、令和6年をもちまして創部百周年を迎えることになりました。第二次大戦後一時、部の活動が途絶えた時期もありましたが、昭和39年医学部漕艇部として復活した後全学漕艇部へと発展し、現在に至るまで日本ローイング協会(旧ボート協会)主催の全日本大学選手権等に毎年出漕し、上位入賞できるよう活動してきています。(主な活動拠点は、江戸川水域(千葉県松戸市等)です。)

百周年を迎えるにあたりこれまで以上の飛躍を目指しているものの、艇庫や艇・オール等の老朽化が進み新艇購入や艇庫改修等が必要不可欠となっており、OB会から寄付金だけではその練習環境改善費用に必要な財源が不足しています。

そこで、募金方法の一つとして千葉大学基金の活用について大学当局と調整を進めた結果、趣旨を理解していただき基金の活用が可能となりました。**本基金の活用により、寄付された各人・法人には税制上の優遇措置等(詳細は裏面参照)が適用**されます。また、寄付金の10%は大学本体への寄付金となり、法人化により経営環境が厳しくなっている千葉大学にとってもメリットがあります。

本紙をご確認いただき賛同いただける方(個人・法人)は、千葉大学基金を活用したボート部への寄付を実施させていただきますので、是非、基金による寄付の検討を願います(複数年に分けた寄付は複数年の税制面の優遇が可能。)。ご不明な点がございましたら、お気軽に問い合わせ・連絡先(事務局)までご連絡ください。

## 【艇・艇庫の現況】



皆さんこんにちは！

千葉大学漕艇部の監督の武田泰明と申します。95年の機械工学科卒業生です。千葉大学に入学して初めてボート競技というものを知り、気づけば社会人になっても競技に関わったまま、縁ありまして2017年からは監督として学生を支援しながらボートというスポーツの魅力伝えていきます。

私自身が30年以上にわたって取り憑かれているこのボート競技(最近ではロウイングと呼ばれています)とは、体力的な屈強さと高い心肺能力が求められる極めて体育的な競技でありまして、これ故に日々のトレーニングを継続する情熱が不可欠なスポーツです。何よりも魅力的なのは、その鍛錬を日々繰り返すことによって人格の成長が形成されることと、これら共通の価値観を有する仲間を部内だけでなく、他大学のボート仲間からも得られることに他なりません。その価値観とは、今日はすっかり身につける機会の減ってしまった、根性・我慢・集団の中における自身と周囲との調和、といったものです。前時代的に聞こえるかもしれませんが、学生時代だからこそ体験しておくべきものだと思います。

大学における部活動は中学高校のそれとは大きく異なり、顧問や監督の監視下ではなく、学生自身が学業と両立する時間を工夫しながら、自律して活動することで成り立っています。それによってこそ立派な人格の成長が促され、学生が社会に出るための準備を完成させられるのです。

とはいえ、学生の活動支援を行う上においては、創部から100年を迎える当部であっても安定した学生支援が難しいのが現状です。艇は1人乗りの安いものでも約100万円、4人や8人乗りのものは数百万円する代物であるため、本来耐用年数5-6年のものを修理しながら20年以上使用しています。

この度は皆様のご理解とご支援を頂きながら、次世代に活躍する千葉大学生をこれからも送り出したいと思っています。未来ある学生たちの大学生活を豊かなものにするために、どうかご協力をお願い致します！



左ーレッドグレイブ氏(オリンピックを5大会連続で金メダル取った歴史に残る偉人) 右ー武田監督

はじめまして、千葉大学漕艇部副主将を務めています、工学部共生応用学科3年の栗山純です。間もなく創部百年を迎える我々千葉大学漕艇部は、これまで毎年全日本大学選手権への出場を続け、過去には全国入賞も成し遂げた伝統あるチームです。強豪校は高校からの経験者が多くを占める中で、我々はその殆どが競技生活を大学から始めることとなります。ディスアドバンテージを背負った上で、それでも結果を残そうと、部員たちは日々工夫をしながら練習に励んでいます。そしてこれから次の百年に向けて、我々は更なるステップアップを目指さなければなりません。我々もより気が引き締まる思いです。ですが、漕艇競技は非常にお金がかかるスポーツでもあります。学生だけで運営できる部活ではないのが事実です。これまで多くの漕艇部卒業生に支援をいただけてきました。今回はこの創部百年を機に、千葉大学漕艇部並びにそうでない皆さまにもご支援を賜りたく、この基金を活用させていただくことにしました。ぜひ強い千葉大学漕艇部を創っていくため、皆様の支援をお願いします。





## 【ボート部の近況】

- 2022年 第71回国民体育大会千葉県予選会  
男子シングルスカル第2位
- 2022年 全日本大学選手権大会 出場(写真①)
- 2022年 U23世界選手権日本代表チームマネージャー派遣
- 2022年 『千葉市政令指定都市移行30周年  
JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA 2022』  
コースタルローイング体験会運営(写真②)・・・HP↓  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000087807.html>
- 2022年 東日本新人選手権大会男子シングルスカル第2位(写真③)
- 2023年 バーチャルインドアローイング大会 男子個人2000m 第4位(タイム:6:39)  
及び大会運営



①R5年8月インカレ事前合宿(北海道)



②R5年10月コースタル体験会(稲毛海岸)



③R5年11月東日本新人戦(戸田)

## ◆募金における千葉大学基金の利活用について

### 1) 寄付していただいた方のメリット

①以下の税制優遇措置が受けられます。

個人からの寄付	<p>寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます。</p> <p>◎所得税: 寄付金額から2,000円を差し引いた額が当該年の総所得から控除されます。ただし、控除対象となる寄付金額は、総所得金額等の40%が上限です。</p> <p>◎住民税: 都道府県・市区町村によっては、寄付金額から2,000円を差し引いた額の一部が翌年の個人住民税額から控除されます。 (詳しくはお住いの都道府県・市区町村にお問い合わせください。)</p>
法人からの寄付	全額損金算入が可能です。

②漕艇部からの謝意: 個人向け→千葉大学ステッカー、千葉大学ロゴ入りノート等の進呈  
法人向け→新艇へ企業名等を掲載(50万円以上)

③大学側からの謝意: 累計金額に応じた 感謝状贈呈、銘板掲示。⇒

感謝状贈呈	個人: 100万円～ 法人: 500万円～
銘板の掲示	個人: 大/100万円～ 中/50万円～ 小/10万円～ 法人: 大/500万円～ 中/200万円～ 小/50万円～
ホームページにお名前掲示	個人: 1万円～ 法人: 3万円～



千葉大学けやき会館の寄附者銘板

### 2) 大学のメリット

寄付金額の10%を全学の学生支援や教育研究環境の整備のために全学分として繰り入れとなります。皆様のご理解をお願い申し上げます。

## ◆千葉大学基金のご利用方法

- ①銀行・郵貯窓口 専用の振込用紙が必要な方は下記(石田)まで連絡ください。
- ②クレジットカード 『千葉大学基金ホームページ』から手続きしてください。 →



### 【お問い合わせ・連絡先】

千葉大学漕艇部100周年記念事業実行員会事務局 石田(1991年工学部卒) メールアドレス: ishi.noriy@icloud.com

千葉大学基金室 電話番号: 043-290-2014 メールアドレス: kikin@office.chiba-u.jp

### 《個人情報の取扱いについて》

本学は、「国立大学法人千葉大学個人情報基本方針」に基づき、提供された個人情報を利用目的の範囲内に限って取り扱い、その正確性を保持し、安全性を確保するなど、個人情報の収集・管理等に関する適正な取り扱いを確保するよう努力いたします。ご寄付により取得した個人情報につきましては、本学からの領収書とお礼状の送付、寄付者様の顕彰に関する業務のほか、本学から寄付者様にご連絡する必要がある場合のみ利用します。